



あじさい通信

令和 5 年度 三宅島あじさいの会 事業計画

昨年度の 9 月に、施設内での新型コロナウイルスクラスター発生により、利用者はじめ家族の皆様、多くの地域住民の皆様にご迷惑をおかけしてしまいました。見えないウイルスへの感染症対策に対して、職員一同約 3 年あまり日常生活と日々業務において、感染症予防に努め遂行してきましたが、ウイルスは容赦なく侵入してきました。これらの経験を踏まえ今年度においても、感染症に対する予防・拡大防止対策の強化に努め、事業継続を行います。

また、事業収益面では、コロナウイルス感染症の発生に伴い、事業のサービス停止や縮小を余儀なくされ、収益面に大きな影響が生じました。

令和 5 年度においては、これらの回復を早急に取り掛かることが法人経営に必要となっております。

そのほか、施設サービスの主要設備整備による支出面では、経年劣化や塩害等により老朽化している設備の更新や導入が必要となっております。引き続き、計画的な資金計画と実施を検討していきます。

人材確保面では、昨年度より検討しておりました「外国人特定技能実習生」の受け入れ、育成を実施します。介護人材不足の解消、安定的な介護人材力となるよう研修システムの構築、実施に取り組んでいきます。

最後に法人理念である「笑顔が絶えず、安心・安全な生活と相互の信頼」の基、地域になくてはならない施設と地域に根付いた福祉サービスの提供を目指すとともに、そのサービスを担う法人職員一人ひとりが自己の強みと組織力を高め、より働きやすくやりがいのある環境づくりを目指すため、令和 5 年度も引き続き、取り組んでまいります。 ※詳細は、あじさいの里

初午・ボランティア

2 月 5 日(日)に阿古青年団の皆様による初午の獅子舞があじさいに来られました。獅子による勇壮な舞を披露していただき、利用者様皆様頭を噛んでもらい、無病息災を祈願していただきました。



職員研修報告

3 月 13 日(月) (株)マスト岩見先生による「認知症ケア身近な事例検討から学ぶ 90 分」研修をしました。認知症ケアで大切な「ケア方法の統一」を踏まえ、グループ内で事例を用いてかわり方やケアポイントなど話し合いました。他部署・多職種による意見や考えを共有することが出来ました。



温かいご支援ありがとうございました～

令和 4 年度多くの皆様からのご寄付・ご協力を頂いたことに感謝し、ご報告いたします。

前田洋一様、宮内眞木子様、土屋廣之様、土屋商店様、伊藤和美様、大年健士様、阿古青年団様、浅沼林三様、飯倉則子様、田中ミト工様、木村育子様、沖山厚子様、加藤郁夫様、堀井恭子様

上記ご紹介のほかに、匿名でのご支援者様からのご寄付をお預かりしました。大切に使用させていただきます。

ありがとう

「タオル等綿製品」
寄付のお願い

皆様のご自宅でも必要となりました左記の物品があまりたら、是非あじさいの里にご寄付をお願い致します。

○ ○
綿タオル・バスタオル
綿シャツ等の綿製品

施設ご利用者様の面会について

感染症拡大防止のため、中止とさせていただいておりましたが、対面の面会を再開させていただいております。しかしながら、感染症が無くなったわけではありません。そのため、対面面会を完全予約制で、人数と時間の制限を設けさせて頂いております。詳しくはお電話でお問い合わせください。窓越し面会・オンライン面会も引き続き行っております。ご理解ご協力のほどよろしくお祈りいたします。

(電話 5-0248)まで予約をお願いします
受付時間:10時~16時
右記の QR コードにて
友達登録をお願いいたします。

編集後記

あじさい通信令和 5 年 4 月号を発刊させていただきました。初めての編集担当でしたが、楽しく取り組むことが出来ました。私は 2018 年に初めて三宅島に訪れ翌年の 9 月にこのあじさいの里に入職、海や自然に囲まれ、少し不便に思う事もあるこの三宅島での生活は私に合っているようでいつの間にか 4 年目を迎えていました。仕事を通して島のおじ・おばと関わり、三宅島の歴史やたくさんのお話を教えてもらい、ますますこの島が大好きになっています。感染症の流行で中止になっていた島の行事も、今年は利用者皆様と楽しめるといいなと思っています。

広報 吉川



あじさい HP QR コード

発行日: 令和 5 年 4 月 27 日発行
 発行者: 社会福祉法人 あじさいの会広報委員会
 住所: 100-1212 三宅村阿古 807-1
 連絡先: 代表 TEL 04994-5-0248
 FAX 04994-5-0884

三宅村地域包括支援センター ☎ 04994-5-1832

営業時間：午前8時30分～午後5時30分まで(日曜日休業)

三宅村の皆さんこんにちは。三宅村地域包括支援センターです。私たちの役割は、高齢者の健康面や生活全般に関する相談を受け付けている、地域に密着した総合相談窓口です。高齢者および高齢者を支える人たちが利用できます。相談できる内容は、日常生活でのちょっとした心配事から、病気、介護、金銭的な問題などです。多様な相談内容に対応するために、社会福祉士・主任ケアマネージャーなどの専門スタッフが配属されています。一度気軽にお電話や遊びにきてください。お待ちしております。三宅村のみなさんが安心して安全に過ごせるよう、日々奮闘中です。どうぞよろしくお願いいたします。担当：村上

~2月に救急救命訓練を行いました~

あじさいの里では年に2回、全職員を対象とした救急救命訓練を行っています。トレーニング用のAEDとレサシアンを使って心肺蘇生法を学びます。

心肺蘇生法のうちマウストゥーマウス法の人工呼吸は感染症流行時には感染予防の観点から実施しないこともあるため今回は胸骨圧迫のみの訓練を実施しました。1分間に100~120回の胸骨圧迫を心電図解析までの2分間、一人で行うことを体験した職員は口々に「2分はきつい、もたない」と言い、その大変さと交代で行うことの必要性を身体で感じました。

また、より多く経験できたことで胸骨圧迫の位置や深さやリズムも学習しました。あじさいの里ご利用者はもとより社会生活の中においても救命処置の現場に遭遇したら各自ができることをやって救命につながれたら良いと思います。

令和5年3月25日(土) 医務 小松



- 職員紹介
【看護師】 堀越 夏樹 (3月入職)
【介護職】 安井 葉子 (4月入職)
【調理員】 小池 実枝子 (4月入職)
【管轄・運転手】 廣瀬 淳巳 (4月入職)
よろしくお願い致します。

職員募集中!! 大歓迎!!

働き方改革推進中!(^^)! (夏休み・短時間、平日のみ、休日のみ、夕方からの勤務など) 賃金や業務内容等の詳細は、お気軽にお問合せ下さい。 ☎5-0248 採用担当:吹田
元気な高校生・大学生 若干名 資格なしでも可 時給:1150円~ ※交通費別途支給
業務内容:ご利用者様への食事・排泄・入浴支援サービスの補助、あじさい行事補助など



特養行事

特養では2月3日節分の日には豆まきを行いました。鬼の衣装をしたスタッフに向かって利用者様に「今年1年間の幸せを願って」豆まきをしていただきました。今年はなんと年男・年女の利用者様が6名もおり、新しく仲間入りしたスタッフSさんにも鬼役をしてもらいました。皆様楽しそうに豆まきをされていました。また2月14日には阿古地区の初午があり、あじさいの里でも阿古青年団の方々に厄除けの獅子舞を披露していただきました。島で古くから伝わる伝統の厄除け儀式、今年は利用者の皆様と見る事ができて良かったとです。阿古青年団の皆様、今年もありがとうございました。 特養 吉川



4月3日よりデイサービスの通常営業が再開しました。大変長らくお待たせしました。再開に伴い代替サービスは終了となりました。感染対策をより強化し、事業継続に努めて参ります。デイサービスの部屋を皆様にお見せするのはとても久しぶり、ということで、春らしい装飾を施しました。 デイ 鈴木

デイ

~職員の家族(猫ちゃん)紹介コーナー(=^.. ^=)~



なずなちゃん (Hさん) ひなちゃん (Hさん) ちゃちゃまるくん (Yさん) そらちゃん (Tさん) こたろうくん (Tさん) えいーくん (Mさん) まさおくん (Yさん) ゆめちゃん (Sさん)